

第3回 高大接続勉強会 要旨

1. 目的

2020年度の大学入試改革を控え、高大接続の実質化を行うためには、大学入試改革に加えて、高校と大学の相互理解に基づく一体的な教育改革が不可欠だと考えられます。

本勉強会は、高校と大学の相互理解の場として、大学が目指す教育改革の方向性について意見交換を行い、高大接続の実質化に向けて具体的な方策を共に考えることを目的とします。

2. 日時・会場

日 時： 令和元年 12 月 2 日（月） 14:30-16:40

場 所： 名桜大学学生会館 SAKURAUM 4 階 研修室 A

3. 出席者

<高等学校> 5校9名

兼島達也（北山高校 教諭）、大城禎久（北山高校 教諭）、知念豪一郎（名護高校 主幹教諭、進路主任）、島袋修（名護高校教諭、進路指導部(国公立担当)）、新城揚子（名護商工高校教諭）、大城知子（名護商工高校 教諭）、玉城安裕（名護商工高校 教諭）、清野篤子（宜野座高校 進路指導主任）、比嘉良一（本部高校 教頭）

<名桜大学> 12名

新垣裕治（国際学群長）、砂川昌範（人間健康学部長）、小番達（国際学群教授、リベラルアーツ機構長）、高安美智子（リベラルアーツ機構教授、学長補佐(北部地域教育担当)、数理学習センター長）、木村堅一（国際学群教授）、中村浩一郎（国際学群教授、外国語教育）、大城凌子（人間健康学部看護学科教授）、立津慶幸（リベラルアーツ機構准教授）、林優子（教務部長、国際学群教授）、上江洲安幸（教務部入試・広報課長）、上江洲剛（教務部入試・広報係長）、新川悦子（教務部入試・広報係主任）

4. プログラム及び勉強会要旨

14:30～14:40 開会のあいさつ・出席者自己紹介

林高大接続WG長から、本勉強会の目的を踏まえ、開会のあいさつが述べられた。その後、参加者一人ひとりが自己紹介を行った。

14:40～15:40

①高大接続勉強会の趣旨説明～高大接続改革で求められていること～

高安学長補佐から、本勉強会の趣旨及び高大接続改革で求められていることについて、

社会背景、文部科学省、高等学校、大学の動向を踏まえ概説された。

また、名桜大学で検討を進めている、北部地区の高校と名桜大学との連携協定を締結した上で高大接続を推進していく必要性が提起された。

②名桜大学の教育と高大接続の考え方

木村教授から、大学を取り巻く社会状況の変遷、名桜大学における学習支援等の教育実績や実践例、課題等、さらにそれらを踏まえた高大接続の考え方について概説された。特に、名桜大学の単独による教育改革の限界から、北部地区の高校を中心とした高大接続の必要性、北部地区高校出身者の大学入学後の状況を分析する勉強会の開催について提起された。

③2018年度「名桜大学の入学前学習プログラム」・「名桜大学入学前特別講座（数学）」実施報告

高安学長補佐から、2018年度に実施した「名桜大学の入学前学習プログラム」及び「名桜大学入学前特別講座（数学）」のプログラム内容、成果、課題等について報告があった。

15:50～16:30 意見交換

①高大接続に関する意見交換

- ・北部地区高校在校生を対象とする入学前特別講座の診断テストの実施、内容について提案、調整し、賛同を得た。また、高校側から1日をかけて実施するプログラムを検討いただきたいとの要望を受け、大学の検討課題とした。
- ・また、診断テストの結果により、受講生を選定する入学前特別講座（数学、小論文）を開講したいと大学から提案し、賛同を得た。2月12日から開講することを確認した。

②「高校生のための学びの基礎診断」の取組み状況（各参加校）について

各参加校の先生方から、「高校生のための学びの基礎診断」の取組み状況について報告があった。文部科学省、県教育委員会、高校との間に、理解度・実施度に開きがあるという状況が概ね共通する課題であった。

③名桜大学からの情報提供

i 令和4(2022)年度入学者選抜について(予告)

上江洲入試・広報課長から、現時点で発表済である令和4(2022)年度入学者選抜の予告第1報の内容や今後の発表予定について説明があった。

ii 令和2(2020)年度自己推薦型試験・推薦入学試験合格者対象入学前教育の実施について

上江洲入試・広報課長から、2019年度の入学前教育プログラムを人間健康学部は12月から、国際学群は1月から実施することについてお知らせし、課題の未提出がでな

いよう高校側にも協力いただきたいと依頼があった。

iii 事前の質問事項の回答

2021 年度入試から導入される総合問題の具体的な範囲の早期発表について

→ 早期にお知らせできるように努める。

④ 質疑応答・要望等

- ・ 北部枠を維持していくために入学前教育が必要なのか。北部枠の成果が出ないので、北部枠を縮小・廃止するという議論はあるか。
→ そういう議論ではなく、北部枠の廃止も考えていない。名桜大学での活躍を期待しての入学前教育である。
- ・ ウェブ出願の改善依頼（お試し期間の設定、途中での様式変更をしない）
→ ご要望を了解した。
- ・ 出願書類のうち実績報告書の改善依頼（該当なしの記入方法、提出の必要性）
→ ご要望を了解した。
- ・ やんばる地域の課題を総合的に理解できる出張講座があると良い
→ 今後の検討課題とする。
- ・ 高校の探求学習（人文・社会系）に対するアドバイザーを大学側に依頼できると助かる
→ 今後の検討課題とする。

16:40 閉会

以上